

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18042	3	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	医療マネジメント論 (Healthcare Management)				
担当教員名	鈴木 直人				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要：医療組織の経営環境は厳しく、その数は年々減少している。それゆえ各組織は無駄を省き、効率的に運営する必要があるが、組織活動は人が織り成す活動であるため、働く個々人が経営マインドを持ち、環境変化に適応できるよう職務を遂行することが求められる。</p> <p>そこでこの授業では、効率的な組織運営に不可欠なマネジメントの概念について、ローアマネジメントの役割として必要となるテーマを中心に、医療組織の特徴をふまえつつ講義を行なう。</p> <p>到達目標：マネジメントの基本概念を理解する。</p>					
準備学習等					
<p>配布するプリントの内容を復習してください。</p> <p>また、以下の関連書籍を参考にすれば、知識を深めることができます。</p> <p>経済産業省の HP から PDF をダウンロードできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療経営人材育成テキスト（経済産業省）</li> </ul>					
成績評価の方法	出席 30%、CC テスト 10%、期末試験 50%、チーム演習 10%として評価				
テキスト	プリントを配布				
参考図書	医療経営人材育成テキスト（経済産業省）				

備 考	<p>・この授業は、医療のコラボレーション教育としての位置づけを意識して進めます。学生諸君が職業に就いたとき、医療人であることと同時に組織人としての側面もあります。そこで、組織人として必要なマネジメントの基本について学習します。</p> <p>マネジメントは正解のない概念論であるばかりか、組織活動は広範であり複雑であるために社会経験の浅い学生にとっては理解し辛い点が多々あると思います。そこで、講義で使用する資料は、必要な事項をまとめたプリントを配布します。</p> <p>また、講義の中で演習を行うことで理解度を高めてもらいますが、学習した内容については復習をし確実に理解してください。特に、聞きなれない専門用語が多く出ますが、この分野の共通語であることから正確に理解してください。</p> <p>なお、質問などは授業終了後に受けつけますので、遠慮なく質問してください。</p> <p>・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p> <p>・下記第8回目に実施するCCテストについて、採点后点数を各人に告知するので、以降の学修態度の振り返りの参考にしてください。</p>
授 業 計 画	
<p>第1回:ガイダンス／組織について ガイダンスを通して授業の進め方等について話をした後、マネジメントを展開する場としての組織について基礎的な内容を学習します。</p> <p>第2回:組織活動とマネジメント 組織が行う様々な活動とマネジメント活動との関係について学習します。</p> <p>第3回:マネジメントの質的变化と活性化の仕組み 時代とともに変化するマネジメントの考え方の変化について学習します。</p> <p>第4回:人の活用 マネジメント活動の中心的存在である人の活用について、組織内の仕組みについて学習する。</p> <p>第5回:マーケティングの活用 環境変化に組織を適応させるための方法としてマーケティングの活用について学習します。</p> <p>第6回:円滑な業務遂行 仕事をする際に意識しなければならないポイントについて学習します</p> <p>第7回:問題解決技法 仕事をする中で発生する問題とその対処方法について考えてみます。</p> <p>第8回:CCテスト8 第7回までの内容を、復習します。</p> <p>第9回:リーダーシップ 活力ある組織活動のために必要となるリーダーシップについて学習します。</p>	

第10回:コミュニケーション

人がリーダーシップを発揮する際に使う手段としてのコミュニケーションについて学習します。

第11回:財務管理

組織を継続させるために不可欠なお金について、その管理方法について学習します。

第12回:利益計画

組織には利益が必要であるが、その利益を生ませる仕組みについて考えます。

第13～15回:チームマネジメント演習

チームに与えた課題に取り組むことで、ここまで学んだことを体系的に整理し最後に発表します。